

製品名: IL-12A p35 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12491**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	IL12A
別名	IL12A; NKSF1; Interleukin-12 subunit alpha; IL-12A; Cytotoxic lymphocyte maturation factor 35 kDa subunit; CLMF p35; IL-12 subunit p35; NK cell stimulatory factor chain 1; NKSF1
遺伝子 ID	3592.0
SwissProt ID	P29459
免疫原	抗血清はヒト IL12A の内部領域由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 31-80

背景

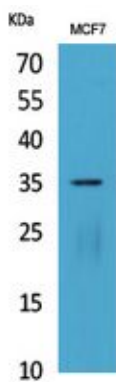
この遺伝子は、T細胞およびナチュラルキラー細胞に作用し、幅広い生物学的活性を有するサイトカインのサブユニットをコードして

います。このサイトカインは、この遺伝子によってコードされる 35kD のサブユニットと、サイトカイン受容体ファミリーに属する 40kD のサブユニットから構成されるジスルフィド結合ヘテロ二量体です。このサイトカインは、T細胞非依存性のインターフェロン (IFN) - γ 誘導に必須であり、Th1 細胞と Th2 細胞の両方の分化に重要です。このサイトカインに対するリンパ球の反応は、転写活性化タンパク質 STAT4 を介して媒介されます。自然免疫におけるこのサイトカインのシグナル伝達には、一酸化窒素合成酵素 2A (NOS2A/NOS2) が必要であることが分かっています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: 活性化 T 細胞および NK 細胞の増殖因子として作用し、NK/リンホカイン活性化キラー細胞の溶解活性を高め、休止期 PBMC による IFN- γ 産生を刺激するサイトカイン。 ,オンライン情報: インターロイキン-12 のエントリ,類似性: IL-6 スーパーファミリーに属する。 ,サブユニット: IL-12B とのヘテロ二量体で、ジスルフィド結合している。このヘテロ二量体はインターロイキン IL-12 として知られている。 ,

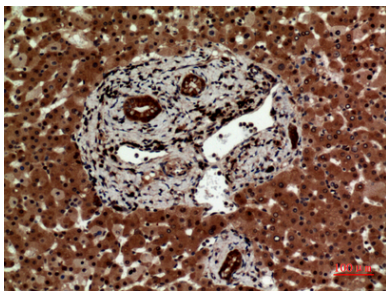
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Toll_Like;RIG-I 様受容体;Jak_STAT;I 型糖尿病;同種移植拒絶反応;

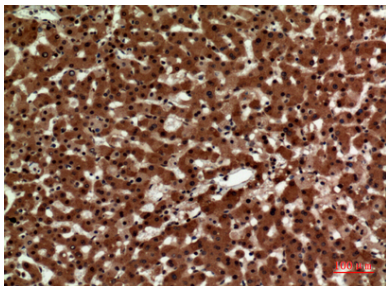
画像データ



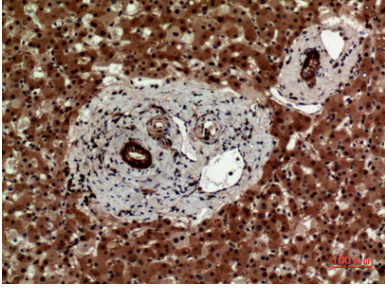
IL-12A p35 ポリクローナル抗体を用いた MCF7 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



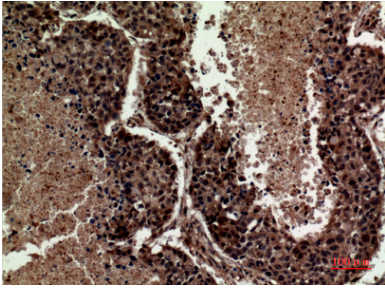
パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



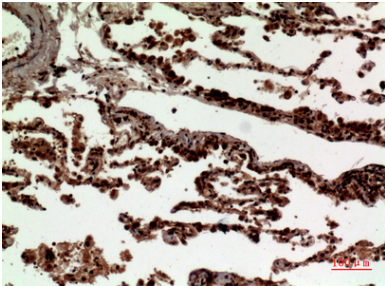
パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された